



シルヴィい生活。

成人向け

18歳未満の方は
この同人誌を
読んではいけません

TESTA_KITCHEN
PRESENTS
FANBOOK For ADULT
TeachingFeeling

初めましての方は初めまして
こんにちはの方はこんにちは
ですたです。

本日はお日柄もよく
コミックマーケット89ということで
「21世紀の淫乱健気天使」と俺の中で話題の
「奴隷との生活-TeachingFeeling-」のシルヴィちゃんの合同誌を作らせていただく運びとなりました

折角の機会ですので
シルヴィちゃんに悩殺された作家の皆様
にお声をお掛けしたところ
このように多数の方のご協力をいただいたばかりか、
お義父様であらせられる
Ray-Kbys様のご寄稿もいただけることとなり
こんなに嬉しいことはない…
ラァならわかってくれるよね？

そんなわけで
気張ってまいりたいと思います～



執筆者担当ページ一覧（敬称略）

てすた 5～19、44
あおいまなぶ 20
名無しの提督 21～27
キリ太 28～33
じょうじ 34～37
enDOLPHIN 38
Shippo 39～41
提灯暗光 42～43
みぞれだま 45～51
かこいかずひこ 52
Ray-K 53
執筆者コメント 54～57



いたずら



シルヴァイイ生活。

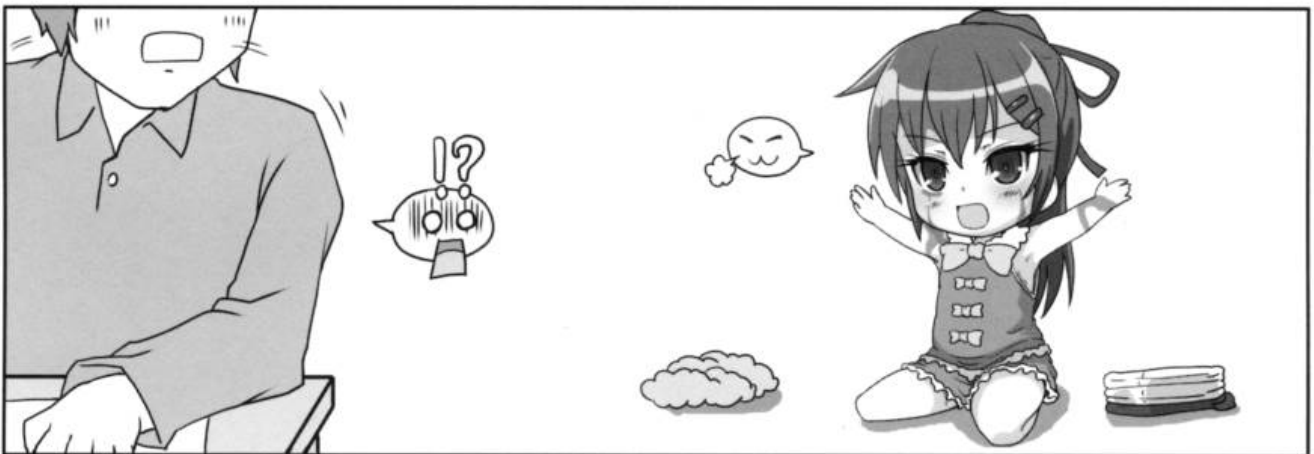
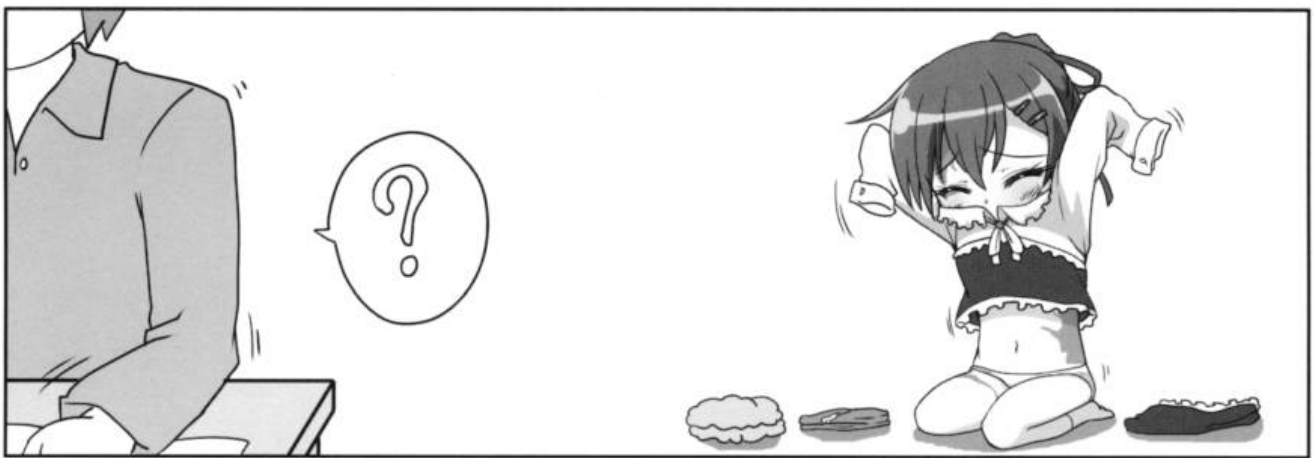
長命



ゴールデンコーラ



気力↑



人肌懐炉





頭を撫てる
ベッドへ
…というわけで

今夜もいっほい…

シルヴィを
先生の好きに
犯してください…♡

…ん…?

(はは)

(はは)

ん…ん…ん



しかも自分から
はっ…♡

指に吸い付いてきて…
いやしい娘だなあ!

ご…ごめんなさあ…♡

ちゅちゅ

ぬいぬい



あ♡
もうごころを
濡らしてる
じゃないか

と言いつつ…

ちゅちゅ

ん…ん…ん



こっも
あさましく
ポッキ
させちゃって…

ひっ…♡



こっも…

あ…っ…♡



奉仕の精神を
みせて
もらわないとね

…っ♡



おもらししたみたい
にヌルヌルにして…

せんせえ…
きもちいい…♡

あ…ああっ♡

ふえええ…
あうっ♡

自分で腰まで
振っちゃって…

ごめん…なさい…♡

本当にいやらしい娘に
なっちゃったなあ♡

ふんふん♡

ふんふん♡

ふんふん♡

ふんふん♡

ふんふん♡

ふんふん♡



(口の中どこまでも包み込んできて…!)

(腰が抜けるほど気持ちいい…!)

ぶっぶっ♡

うっ…♡



あ…♡

…ごめんシルヴィ…



(精液…飲んでくれてる…)

うっ…おお…

んっ…♡

(嫌な顔ひとつせずに…それどころか飲びの表情すら浮かべて…)



で射精するッ…!

んっ…♡

びっ!

どろろ!

んっ♡



し…しかも

んん…♡

んん♡

んん♡



す…
吸い取られそう

んん…♡

んん♡



えへ…

ま…また
勃ってくる…

んん♡

んん♡



んん♡

おっ…

んん♡



…今度は
おうちじゃなく…
もっと気持ちいい…
させてください♡

おっ…



んん…♡

先生…♡
すくお元気
なっちゃいました♡

んん♡



ここ…
シルヴィの
ここに…

先生の
熱くて
かたいの…

くたさい…♡

…くたさい

びしょ

びしょ

びしょ



あ…あ…あ…
♡♡♡♡♡

おんが…おんが…
♡♡♡♡♡

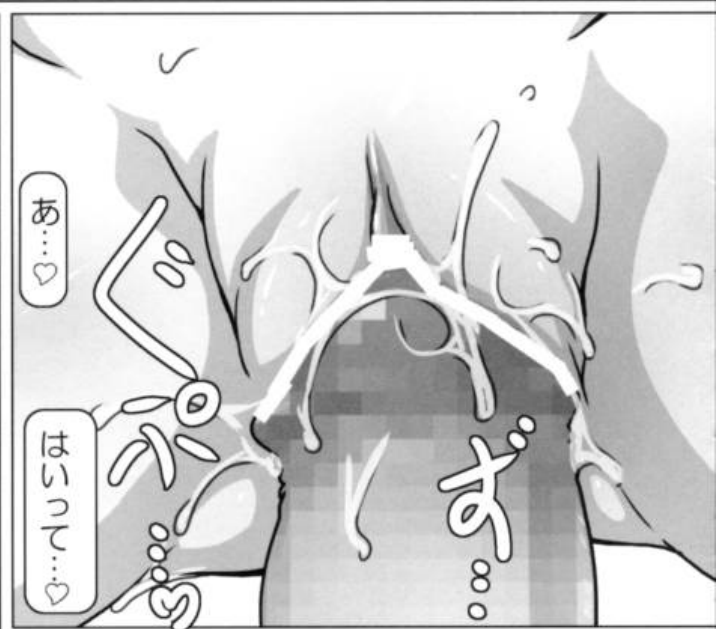
おなかのおん…
♡♡♡♡♡

びしょ

びしょ

びしょ

びしょ



あ…♡

あ…♡

びしょ



あ…♡

あ…♡

あ…♡

びしょ

びしょ



ふえ...♡

シルヴィ
今度は私が

(く...のままで
一方的に
イカされる...!)



せ...んせえのが...♡

おんちん...しきめけて...♡

きもちいいお...♡

(シルヴィの
腰のうごきが
うますぎて...)



は...♡

ふあ...♡



あ...♡

シルヴィを
責めたいなあ!

どおだあっ！

びしょびしょ

びしょびしょ

あ…あああっ♡

…っく…
すくきゅんきゅん
しる…！

せんせえ…おんあで…♡
きてますじう♡

で
射精そじう…

おんあ♡

キス

キス

シルヴィイの
おなかのなかに

種付け…
するよっ！

して…♡
ください…

おなかの
なかに…
だして…♡

キス…♡

キス…♡



ふあ…♡

おなかのなか…
せんせえの
ぬくもり…♡

きもちいい♡

しあわせ…

せんせえ…
すき…♡
だいすきです…♡

もう…
離さないで…♡

わたし…
なんでもしますから…♡

(は、は)

(は、は)

は、は

は、は

は、は

は、は



あ

あの

ご主人様…

これでは
せつかく頂いた
着物が汚れて
しまいます…



ヒメハジメ...?

日本には
面白い文化が
あるんですね



〜♡



〜♡



はあ...

あ

あの

あ、いえ
嫌なわけじゃ
なくて

やつぱり

こんなに
綺麗なものを頂いたから
汚したくなくて...



そ

その

着物が...

私…

すすろ…

ご主人様に
出会えて本当に
幸せなんです

贅沢なご飯に
綺麗な洋服を頂けて…
だからどれも
大切にしたいんです

それに…
やっぱり着たままだと
じれったいです





あーっ

あーっ

あーっ

あーっ
あーっ
あーっ

私
もっ

あーっ
あーっ

あーっ

あーっ
あーっ
あーっ



私

はあ...

ヒメハジメ
ちゃんと
出来ましたか...?



アム...

今年も
よろしくお願
い
します...♡

最近時間が空いた時には
シルヴィに勉強を教えている

自分に万一のことがあれば
本当に独りぼっちに
なってしまうシルヴィだ

その時のために
自活できる手段があればと
思っていることなんだが

思った以上に
物覚えがいいようだ

自主的な学習意欲も高い

シルヴィは優秀な生徒だね

ん…♡ありがとうございます

教えたことでこんなに
伸びてくれると
俺も嬉しいよ

本当ですか？

わたしも嬉しいです♡
勉強をがんばれば

先生に喜んで
いただけますから♡

!



今はいいさ
それでも

あ…

さわ

さわ



そっか…

…先生？

シルヴィが勉強に励んでいるのは
自分が学びたいからじゃなく
俺が喜ぶから…俺のために…



いつかシルヴィが一人で
歩める日まで

いいんだよ

あ…♡

先生…



いいんだ

ん…!

俺はシルヴィのために
寄り添っていこう

ちゅらう♡



寝る前のお勉強も
教えてください♡

お、おう…

ベッド

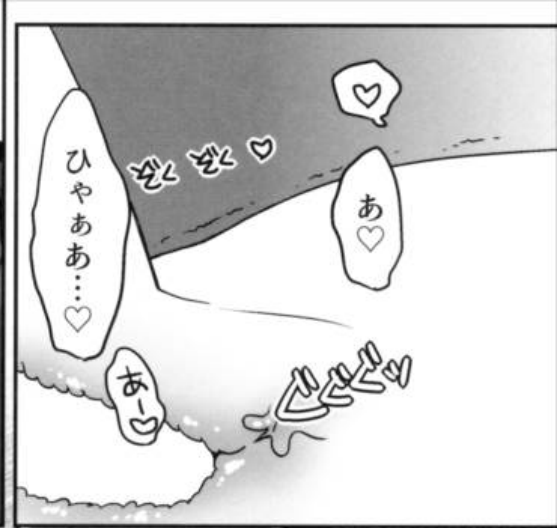


その夜



…先生の手…
あったかいですね…♡

ニギョ





シルヴィです



新しいご主人様との生活にも慣れてきたこの頃…

少し悩みがあります



お店に来るといつも店員さんの胸ばかりをずっと凝視していることを…!!

ぐぬぬ……



私は知っています



え、胸？
んゝまあ、確かに大きいのは好きだが

大きさだけが全てという訳ではないからなあ

以前訊いたとき、ご主人様はそう答えてくれましたが

シルヴィもいっぱい食べれば、きっと大きくなるよ!!





先生のマグカップ？





いつものように服を脱がせ、シルヴィをベッドに横たえると、珍しいことに自分から秘部を開きおねだりをしてきた。「ご主人様、私もう我慢できません・・・早く私に挿れてください」最初の頃は従順で、ただじっと挿入されるのを待つだけだったのにシルヴィはどんどん淫乱になってきているようだ。せっかくなのでシルヴィに挿れてもらうようお願いしてみた。「私から・・・ですか？上手くやれるかな・・・」ちょっと困惑した様子で私の上にまたがってきた。「・・・私からするなんて、なんだかすごくドキドキします」そう言うとペニスを優しく掴み、すでに濡れている自分のアソコへあてがった。「あは♡なんだか今日のご主人様が私のモノになったみたいです♡」いつもと違う妖艶な表情でそう言うと、一気に腰を落とし、自分の膣内へ私のモノを啜えこんだ。



声にならない悲鳴をあげ、シルヴィの体が小刻みに震えた。どうやら先端が入っただけで絶頂してしまったらしい。「…これ…すごい♡ご主人様のを私が好きに出来るんだ…♡」恍惚とした表情を浮かべながらシルヴィが呟いた。「あっ♡んっ♡気持ちいいですかご主人様？」ゆっくりとシルヴィが腰を動かす度に、粘膜がこすれ卑猥な音を響かせる。シルヴィは自分が主導で尽くせる騎乗位が甚く気に入ったらしい。シルヴィの懸命の奉仕からくる快感を楽しみながら、少しだけ不安に思う。これ以上淫乱な子に育ったら、私は生きていくことができるのだろうか？まさか従順な可愛い奴隷に襲われるような日は来ないだろう、と。

苦難の始まり？——完



お出かけシルヴィちゃん

汚い奴隷を
譲り受けたので
虐待することにした

他人の目に触れると
まずいので空き部屋に
押し込める事にする

ガッ
キョ

不安がる奴隷を
風呂場に連れ込み
お湯攻め

充分お湯をかけた後は
ぬるぬるした白い塊を体中に
塗りたくりゴシゴシする

薬品で体中が
汚染された事を確認し
再びお湯攻め

お湯攻めの後は
布でゴシゴシと体をこする

ゴシ

ゴシ

ポ
ー
ー

町に出たときは
べたべたした汁をぶっかけた
焦げ茶色の不気味な物体を
食わせる事にする



えっ…
食べて…
いいんですか…？

その後俺はともじやないが
着れないようなデザインの間や
小物を着させて辱める



あ…
わたしに
こんな洋服…
えじ…
もったいない
です…

もちろん元々着ていた服は
二度と着ないように
全て取りあげた上でだ



あ…
マ主人様…その…
私…経験は
ないですけど…

夜には硬い棒の先端を
内臓に突き入れて
感情を著しく刺激させ
体力を消耗させる



マ主人様っ…
マ主人様あっ♡

あ…あっ♡



そうして
ぐったりとした
奴隷の様子を
眺めながら
寝るまで監視した
後に就寝



シルヴィちゃんは多分
ナチュラルにすげーエロい声を上げて
それがさらに先生をヒートアップさせる系だと思うの





先生！

言われたお薬
持ってきました

ああシルヴィ
ありがとう

いやー悪いね
しばらく治まってた
腰痛がまたひどくてさ、
久しぶりに来たってワケ



オ薬
ありがとよ
嬢ちゃん

そういや
気になって
ただけどさ

先生ってさ

今恋人とか
居ないんでしょ？

いやあ、それは…
ははは…

あれ…
私は？



珍しくシルヴィイが怒っている……!

今さう良い縁談の話があるんだよ
ほらさう町外れこそこそ

あそこ娘さんか

何か向こうも先生のこと気になってるみたいで……

ん?
そういえば

その嬢ちゃんこの前来た時はいなかったよね

どうして私は無視されるんだ……

!

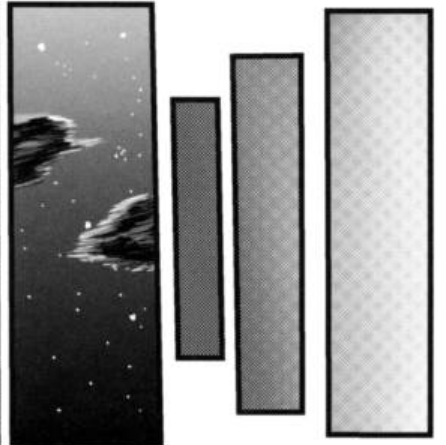
あつそうかもしかしてアンタ……

そうです私が先生のこいび……

ようやくまじか
気づきましたか

先生の娘さん?





何であんなこと
言ったんだ

僕らの関係は
まだ周りには
黙っておきたいと
言い出したのは君だろ



ごめんなさい

でもあの患者さん
私を無視してご主人様
に縁談の話なんかし出して……
つい腹が立ってしまつて……



……



「僕らの関係」って
なんですか？

ご主人様は私のこと
どう思ってるんですか？



そもそも



何も言ってくれないと不安なんです…

ご主人様は私の事、いつかは飽きちゃうんじゃないか捨てちゃうんじゃないかって



私はいつも自分の気持ち伝えてるのに

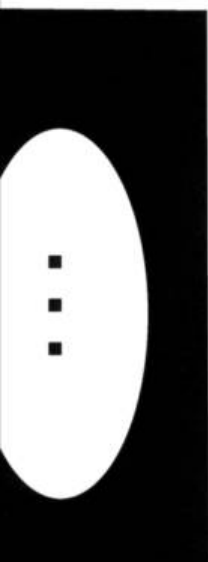
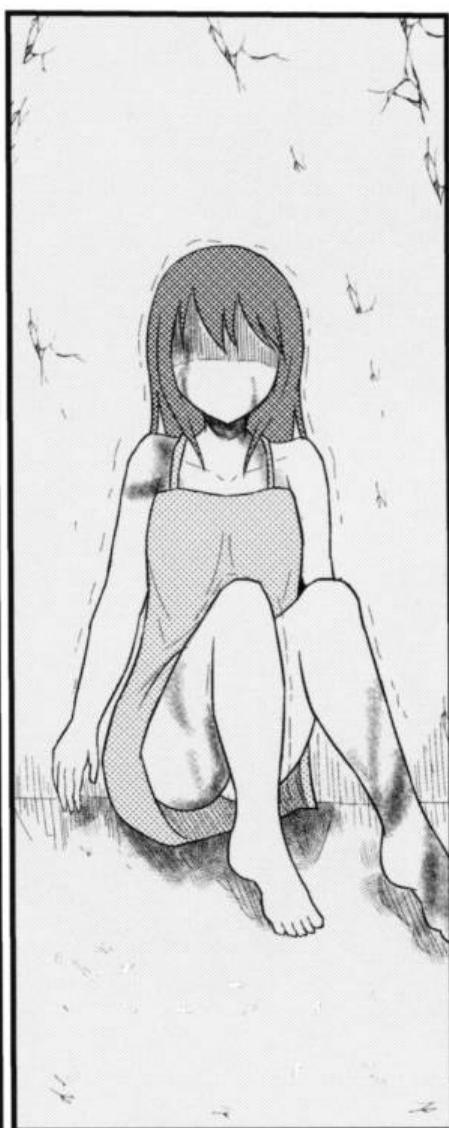
ご主人様はご自分の気持ち何一つ言ってくれないじゃないですか

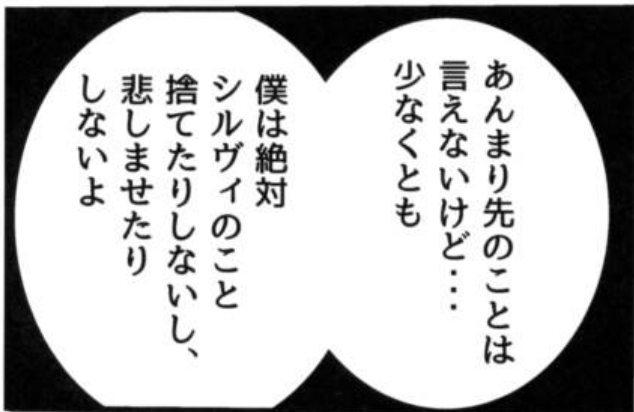


シルヴィ…

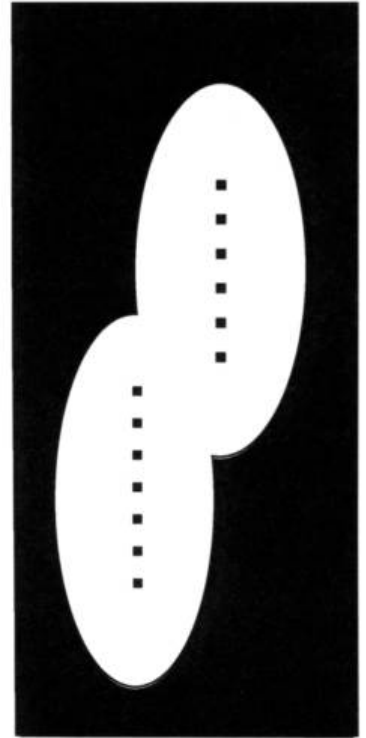


私、もうあんなつらい思いしたくない…





もお……







Pny-K

シルヴィかわいいよシルヴィ
はあ…君の元主人殺したいよ 君を汚したから
ああ…きっとこのまま君とずっとこのまま愛を舐めあっていこう
「シルヴィみたいな娘が彼女になってくれないかなあ…」
とか考えながら描いていたらこんなことになってしまいました
意識の低い二次創作にて恐縮です…

そんなわけで今回の合同誌は参加された皆様が
シルヴィへの熱い思いをそれぞれに綴っていただきましたので
わたくしとしては何も言うことはありません

いや！あった！
Ray-Kbys様！Ray-Kbys様見てますかー！
シルヴィちゃんをこの世に生み出してくれてありがとう！
「奴隷との生活」は永遠に不滅です！ピシッ！

ご主人様！ピンクの花を集める作業に戻りましょう！



はじめまして。名無しの提督と申します。
シルヴィちゃんに和服を着せた過ぎて
軽率に今の季節ならこれだろ！と
姫始めネタにしてしまいました。すみません。
可愛いシルヴィちゃんたくさん描かせていただいて
とても楽しかったです！
お誘いくださってどうもありがとうございました～！



○ キリ太

<http://www.pixiv.net/member.php?id=40211>

初めまして。キリ太と申します。
この度はシルヴィ本にお誘いいただきまして有難うございました！
最初は以前の奴隷生活の影響で
感情も出さずこちらを警戒していたシルヴィちゃんが
徐々に心を開いていき先生にベタベタ甘えていく変化が
とても最高ですよね。
そんな先生大好きなシルヴィちゃんが好きなので
描いてとても楽しかったです。
(こっそりと不気味な店員さんも好きです…巨乳！)
また機会がありましたらお会いしましょう～ではでは



○ じょうじ

<http://www.pixiv.net/member.php?id=10924118>

いろいろ妥協した点も多く、
満足のいく作品に仕上げられなかったかもしれませんが、
何とか形にすることができました。
時間の大切さを身をもって実感しました。



○ enDOLPHIN

<http://www.pixiv.net/member.php?id=269587>

てすたさんの熱意を受けて描いてみました。



こんにちは、shippoと申します。

「奴隷との生活」の合同企画ということで参加させていただきました。

シルヴィちゃんの人気すごいですね～。
少ない枚数ですが少しでもシルヴィちゃんの可愛さが伝われば幸いです。
青リボンに青ヘアピンの組み合わせがマイフェイバリットですね。

最後になりますが、素敵な企画に誘っていただいたてすたさん、本当にありがとうございました！



皆様こんにちは、シルヴィちゃんとまだ一線を越えられてない提灯暗光です。
数日前にてすたさんにこのゲーム教えてもらって、プレイした勢いで原稿描きました。
いやーシルヴィちゃん本当に可愛いですねー♪
一日中頭を撫でてるだけで満足できる（笑）

ちなみにネタが安易とか言われそうですが、今回は本当に時間が取れない中での作業だったんで許して…。



こんにちは。みぞれだまです。
今回は合同誌のお誘いありがとうございました。

元々こういうゲームにはあんまり手を出したことが無かったんですが、『Teaching Feeling』は体験版を少し触っただけでハマってしまいました。
シルヴィちゃんの一途で、それゆえ視野が狭い感じがなんとも可愛いですね。



このくらい難しいキャラも久しぶりです。
目力という言葉が久しぶりに思い出しました。
罍



(※ご多忙につきコメントは割愛させていただきました)



【シルヴィい生活。】

2015年12月31日
コミックマーケット89 発行
2016年1月17日 第二版発行

[発行者] てすた
[サークル] てすた厨房
[メールアドレス]
testakitchen@gmail.com
[WEBサイト]
<http://kitchen.sakura.ne.jp/>
[印刷所]
有限会社ねこのしっぽ 様

取り扱い注意: 18歳未満の鑑賞禁止
禁無断転載無断アップロード
当同人誌の登場人物は
すべて23才以上という設定です

NAME

Ray-Kbys

COMMENT

シルヴィを愛していただき
ありがとうございます

(※作者の方がご多忙につき、
初版に間に合わなかったコメントを
再販を機会に掲載させて
いただきました)



